

最新保存版
カラー16ページ

「リビング・オブ・ザ・イヤー2014」受賞施設を徹底取材

絶対失敗しない

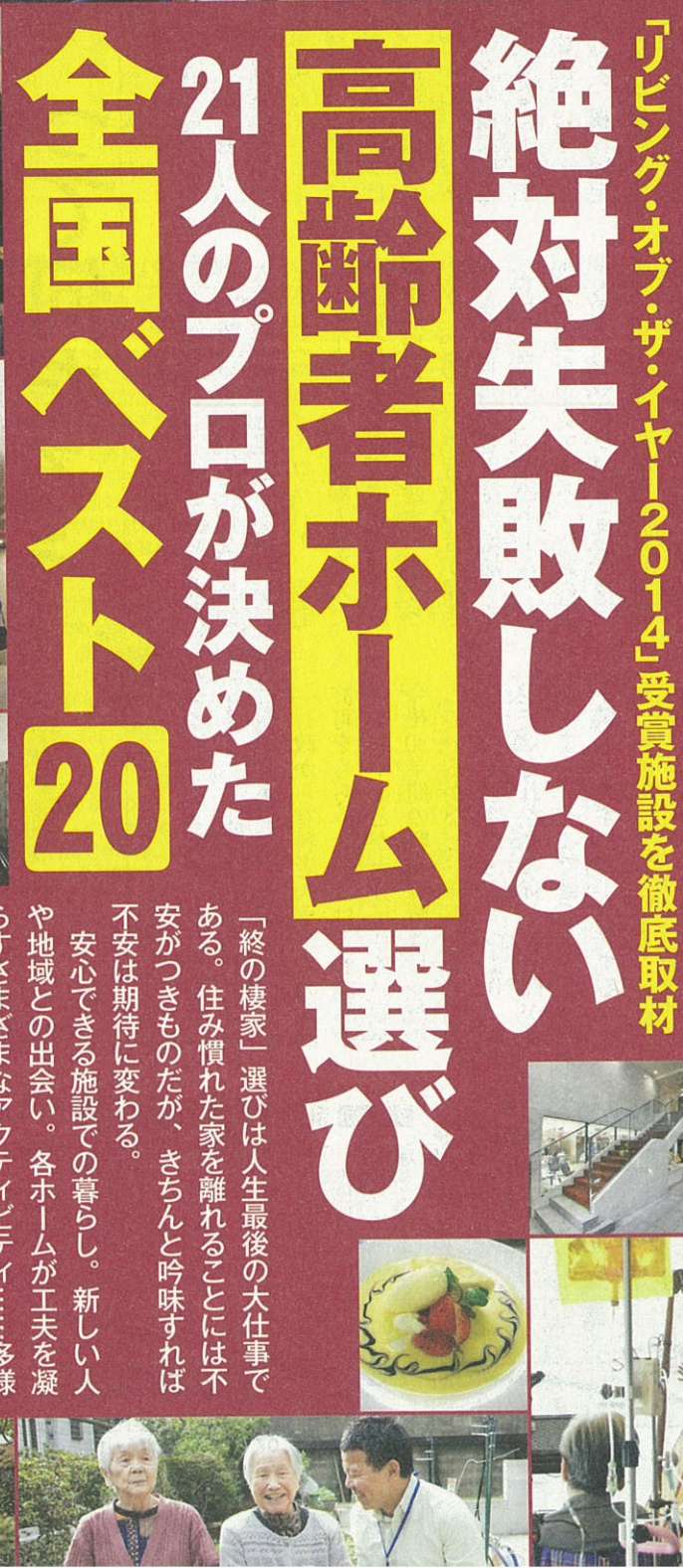
高齢者ホーム選び

21人のプロが決めた

全国ベスト20

「終の棲家」選びは人生最後の大事な仕事である。住み慣れた家を離れることには不安がつきものだが、きちんと吟味すれば不安は期待に変わる。

安心できる施設での暮らし。新しい人や地域との出会い。各ホームが工夫を凝らすさまざまなアクティビティ……多様化している全国の高齢者ホームのなかから、プロが厳選した「充実のセカンドライフを約束する優良施設」を徹底取材した。



「リビング・オブ・ザ・イヤー2014」とは

●主催団体
賞を主催したのは、オリックス・リビングやアズバートナーズなどの大手高齢者住宅サービス提供企業の経営者が参加する「高齢者住宅経営者連絡協議会（高経協）」。「終身にわたり尊厳のある暮らしを支えられる良質な住まい」について情報交換、研究する団体だ。

●選考基準
「独自の医療連携あるいは看護、看取りを行なっていること」「認知症ケアについて独自のプログラムや人材育成を行なっていること」「地域との連携を積極的に進めていること」「過去にない、斬新なコンセプトに基づいて作られた高齢者住宅であること」などが重視された。

●審査の流れ
対象は11年4月以降に開設された全国すべての高齢者ホーム。選考する実行委員は高齢者施設事業者など「高齢者ホームのプロ」21人。61施設がエントリーし、21のノミネート施設を選出。その中から実行委員の施設訪問、公開プレゼンテーションなどを経て「大賞」1施設、「優秀賞」6施設が選ばれた。

本特集で紹介する「高齢者施設」の概要

介護付き有料老人ホーム 介護付き	要介護1以上の人を対象とした「介護専用」型と、認定を受けていない人でも入居できる「混合」型がある。施設に居住しながら食事や入浴などの介護サービスを受けることができる。民間企業などが運営しているため、特養と違い、施設によって料金やサービスは異なる。
住宅型有料老人ホーム 住宅型	基本的に60歳以上であれば、感染症など集団生活ができない場合を除いて入居することができる。バリアフリー設備が充実し、食事や清掃などのサービスを受けられる。介護が必要となった場合は、入居者が事業者と契約し、訪問介護サービスを受ける。
サービス付き高齢者向け住宅 サ高住	60歳以上もしくは要介護認定を受けている人が入居できる。介護関連の資格を持つスタッフが常駐しており、安否確認・生活相談サービスが提供される。介護は外部業者と契約して利用する。賃貸契約のため、多くの施設で一時金は不要だが、敷金・礼金などはかかる。
特別養護老人ホーム 特養	自力で生活することが困難で、在宅介護が受けられない人に、食事、入浴などの日常生活の介護や機能訓練などのサービスを行なう施設。社会福祉法人や自治体などが運営しており、低料金で利用できるが、待機者が多く、要介護3以上の認定がないと入所は困難。
グループホーム グループホーム	65歳以上の要支援2、または要介護1以上の人で、施設の地域に住み票がある人が入所対象。認知症を患っている5人から9人の高齢者が常駐する介助スタッフの援助を受けながら共同生活を送る。一般に有料老人ホームより低料金で利用できる。

基本データの見方

Ⓚ=開設年月、Ⓛ=入居一時金（老人ホーム、特養）、Ⓝ=敷金（サ高住、グループホーム）、Ⓜ=月額費用、Ⓨ=居室の広さ

※基本的に80歳の方が介護居室に単身で入居した場合。※複数の料金プランがある場合は、「入居一時金」が最も安いプランを掲載した。※「月額費用」には、家賃、食費、水光熱費、一部の介護サービス費用を含む。介護保険の1割負担分は含まない。「特養」の場合、要介護3で、年収80万～155万円を想定。一部施設では水光熱費を含まない。

「失敗した」と気付いては遅い。施設選びを間違えないために、入居前にきちんと生活や介護の実態を知っておくことが必要だ。前出の田村氏によるとチェックポイントは3つある。

ポイント① 介護の実態が本人にも家族にもオープンか
体験入居ができる、家族がいつ面会に来ていいといった条件は必須だ。さらに、入居者から直接話を聞くなどして住み心地や介護の実態を把握したほうがいい。

たとえば、施設内で大声を上げている入居者がいる施設は必要なケアを怠っている可能性があるの

要注意だ。

ポイント② 認知症ケアが充実しているか
特養などの施設入居者の7割以上が認知症といわれている現在、発症を防いだり、症状を遅らせたりの療法を取り入れていっている施設を選びたい。人によって効果がある方法は違うので、複数種類のケアを受けられる施設が理想だ。

ポイント③ 看取りをしているか
特に介護付き老人ホームや特養では、過去にどれだけの看取り実績があるのか確認したい。いざ最

期を迎えようという時、「看取りはできない」と追い出されて行き場がなくなるのは悲劇だ。半年に1度以上は看取りに関する研修会を開いている施設もある。そうした施設は安心といえる。

不安のある高齢者ホームが存在する一方で、充実したサービスを提供する施設も増えている。

本特集では、高齢者ホームのプロたちが選んだ全国の優良施設20か所を取材した。それらの施設の優れた特徴や他にはないポイントを見れば、自分で施設を選ぶ際にも「幸せなセカンドライフ」を送るための判断基準になるはずだ。

「拘束介護施設」問題で考える 本当に幸せな「高齢者ホーム」 って何だろう？

外見は鉄筋作りの瀟洒なマンションだ。ところが、玄関を抜けると消毒液と排泄物の混ざったツンとすえた匂いが鼻を突く。

一室のドアを開ける。4畳半ほどの狭い居室のカーテンは閉じられて薄暗い。高齢女性がベッドで仰向けに寝ている。ベッドの四方は高さ30センチほどの柵に囲まれている。手には大きなミトンが被せられ、腰にも幅20センチほどの拘束帯がきつく巻かれて、柵に固定されていた。女性は身体を起こすこともできず、うつろな眼でこちらを見つめていた。

高齢者ホームの数が近年、急増している。この10年で有料老人ホームは約3倍、特別養護老人ホーム（特養）は1.5倍になった。約4年前に制度化されたサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）は5000か所を超えている（グラフ①）。

増加の理由は運営団体の多様化だ。従来は医療法人や社会福祉法人だけが施設を運営していたが、ゼネコンやデベロッパー、住宅メーカーなどの新規参入が進んだ。高齢化による需要増に応じて施設数が増えるのは歓迎すべきことだが、その一方で行政の目が届きにくくなり高齢者虐待が増加する（グラフ②）、「悪徳ホーム」が増えたのも事実である。冒頭のようない「拘束介護」の実態が朝日新聞（11月9日付）で報じられたのも、その一例だ。

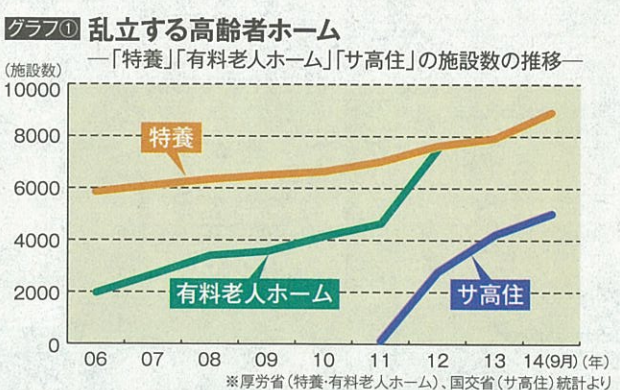
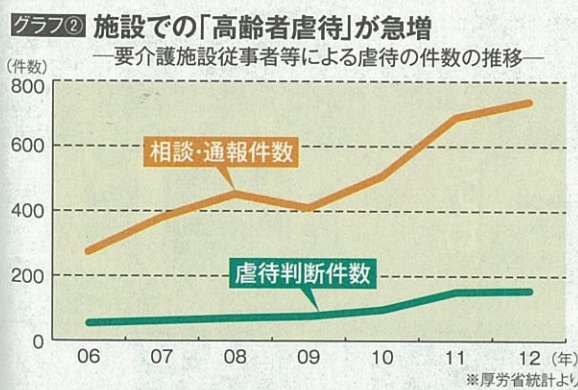
同マンションを訪れた人が語る。「鉄製の引き戸は外からつかない棒がはめられ内側からは開けられない。起き上がることもできず、入居者は自由にテレビも見られない。まるで牢獄のようだった」

高齢者住宅開設のコンサルティ

ングを行なう「タムラプランニング&オペレーティング」代表・田村明孝氏が解説する。

「行政から有料老人ホームの開設許可をもらうためには、看護師やヘルパーなどが十分足りているか、今後30年間の収支計画はしっかりしているかなど、詳細なチェックを受ける必要がある。つまり、開設にはそれなりの資金と時間がかかります。そこで最近、そうした手続きをせずにオープンする「無届け施設」が増えていきます。東京、北区のシニアマンションもそうした施設で、届け出されていないため行政も管理・指導ができません。だから虐待まがいのような介護が行なわれてしまう。こうした無届け施設は私を知る限り、首都圏だけでも170か所以上あります」

急増する高齢者ホームは玉石混濁の時代になった。入居してから





⑤、⑥、⑨個室のドアはいつもオープン。施設の隅々に太陽光が差し込み、開放感がある⑦食事処「よっと〜」には近隣住民も集う⑧ログハウス風のペンションのような外観⑩自身も看護師資格を持つ吉松泰子社長

ラリーを構えました。入居者は、我が家にお客さんが来てくれる、と鼻高々です。いつもきれいに着飾り、リビングで地域の人と入居者が自然に会話するようになった。それこそ私たちが目指している『社会型老人ホーム』なんです」

居室の広さは9〜38㎡と4タイプ（単身向け個室は9〜15㎡）あり、全45部屋は間取りがすべて異なる。「将来的には、まったく新しい形の集合住宅にしたいと考えています。要介護の方だけではなく、学生やビジネスマン、ファミリーにも入居してもらい、あらゆる世代がお互いに助け合って暮らしていけるよう、さまざまなタイプの居室を作りました」（同前）

実際、入居しているのは要介護の高齢者だけではない。40代の難病患者や、夫がパーキンソン病を患う夫婦なども一緒に暮らす。人生最期の瞬間である看取りもそんな「明るさ」の中で行なわれている。

「住んでいる人がみんなで看取るそれがこのルール。看取った人に、自分もあんな死に方をしたい、と思ってもらいたい。納棺もみんなです。『死』はかわいそうなことではなく、幸せなことだと感じてもらうんです」（同前）

住宅型

大賞 アクラスタウン (福岡県太宰府市)



①入居者もスタッフも笑顔が絶えない②89歳の女性入居者は「昔の大家族を思い出す」と語る③座ったまま入浴できる風呂④近隣住民も利用できる図書室

基本データ
 開11年11月
 入居一時金 0円
 敷金 12.5万〜20.5万円
 月額費用 9〜38円

世代や介護度を超えて地域に溶け込む「社会型老人ホーム」

とにかくホーム全体が「明るい」。採光が工夫され、太陽光がふんだんに差し込むからだけではない。リビングやダイニングなどの共用スペースがいたるところにあり、個室のドアはいつも開いている。「閉めるのは寝る時だけ。体調を崩して寝込んでいても、いつも誰かの声が聞こえて安心です」（入居者の70代女性）

入居者やスタッフの声だけでは、施設を訪れた家族や近隣住民、子供たちの声。笑い声や話し声、時には怒った声や泣いた声。誰かの声がいつも施設内に響き、部屋にいる人の耳にも届く。

「リビング・オブ・ザ・イヤー2014」で大賞に輝いたのは、従来の高齢者ホームのイメージを一変させる施設だった。

ぬくもりのあるログハウス風の建物は、外観・内装に無垢材をはじめ、自然素材をふんだんに採用した。その建物の周囲には門や塀が設置されていない。だから、近所の人が犬の散歩の途中に敷地内を通り抜け、近所のひとり暮らしの老人や若い親子が施設内にやってくる。

そんな時には窓ガラス越しに人工呼吸器を付けてベッドで寝ていたり、経鼻チューブをしながらリクライニング式車椅子で休んだりする入居者の姿が目に入る。それでも、施設の持つ独特の「明るさ」がそこに違和感を持たせない。入居者が地域社会の一員として自然に溶け込んでいるのだ。

自身も看護師資格を持ち、10年以上訪問看護の現場で働いてきた運営会社・誠心の吉松泰子社長が「こだわり」をことうる。

「施設の中で過保護ともいえる介護をするのではなく、入居者に社会の一員として過ごしてもらいたいと考えました。かといって、要介護者が施設を出て働くような形での社会参加は難しい。そこで、施設の暮らしの中に社会性を持った人、つまり地域の人たちに来てもらえる仕掛けを考えました。

まず敷地の中に美味しくて安い食事処を作りました。すると、自然に近隣の人たちが敷地内に入ってくるようになりました。

続いて皆さんが建物の中にも入ってくれるように、手作りケーキを提供するカフェ、図書館、ギャ

開=開設年月、入=入居一時金、敷=敷金、月=月額費用、広=居室の広さ

サ高住



イリス南郷通 (北海道札幌市)



①お洒落な談話スペースで入居者が自然に交流②広々とした食堂③居室④開設2年の新しい施設⑤毎日手作りの食事を提供⑥介護予防の運動メニューに汗を流す⑦柿原尚美・施設長⑧人気落語家による高座などのイベントも

基本データ
 ㊦12年11月 ㊩17.8万円 ㊪19.8万円 ㊫18㎡

札幌の中心部から車で約20分、最寄り駅から徒歩3分という好立地にある「イリス南郷通」は全国で最も高い評価を受けるサ高住のひとつだ。
 2年前の開設時に入居した70代の夫婦は、「ひ孫がもう何度も泊まりに来てくれてる。施設がキレイで、ちょっとしたホテル感覚で住めるんです」と話す。
 イベントの充実も人気の理由だ。柿原尚美・施設長がいう。

「看取り」態勢も万全
 医療体制が充実したサ高住

家を招いての高座や夜景の見えるレストランでのデイナーなど様々なイベントを用意しています」
 栄養士が考える食事は、外部委託ではなく施設内で専属のシェフが調理する。しかも事前に予約する必要はなく、食べた分を自動的に集計するシステムなので、その時の気分分で外食に変更しても問題ない。
 11階建て、169戸のうち介護専用住戸が38戸ある。そこでは介護職員が常駐し、24時間入居者の様子を見守っている。プライバシーが確保される一般住戸も、訪問介護と訪問看護で医療ニーズに对应、理学療法士によるリハビリも受けられる。サ高住にはめずらしいことだが、看取りにも力を入れている。
 「設立から2年間で6人の入居者を看取りました。普通の暮らしの延長線上での最期を希望された方には、介護専用住戸に移り住まない」という選択肢も選べるように工夫しています」柿原氏
 60歳以上ならば誰でも入居可能な施設だ。

特養



介護医療サービスリゾートアマルネス・ガーデン (兵庫県尼崎市)



①有名建築家が設計②認知症ケアも充実③100部屋はすべて個室④大浴場には緑に囲まれた露天風呂も⑤各フロアにあるダイニング⑥松本真希子・経営統括本部長⑦家族との談話スペースはまるでリゾートホテルのエントランス

基本データ
 ㊦13年6月 ㊩0円 ㊪6.5万円 ㊫12.4㎡

国や自治体で費用が定められていて、費用が安い特別養護老人ホームほどの施設でも設備はそう変わらない——そんな常識を覆す施設だ。
 外観はまるで高級マンション。各フロアは吹き抜けや高い天井で開放感があり、椅子やテーブル、照明器具などの家具や内装のひとつひとつにこだわりがある。
 松本真希子・経営統括本部長がいう。

家族が頻繁に訪れなくなる
 リゾートホテルのような心地よさ

設計りの根幹です。特養は多くの場合、入居者の最後の住まいとなる場所です。家族の方々は往々にして、本当は自分たちが最期まで看ないといけないのに、親を施設に入れてしまった」という気持ちになりがち。
 でも、設備もケアも充実した施設であれば後ろめたさも消えるし、「最後の孝行」とむしろ自慢に思ってもらえるはず。そうした気持ちが入居者にも伝わるので、家族が誇れる施設を目指しています」
 リゾートホテルのような居心地のよさが自慢の施設には、孫やひ孫を連れた家族が頻繁に訪れる。訪問した家族専用のスペースもゆったりと作られている。
 居室のある2、4階まで中庭は吹き抜けで、施設のシンボルツリーや季節の花が観賞できる。暖かな日差しが降り注ぎ、雨も降り込む。四季や天候を日々、感じることもができる工夫が施されている。
 ハード面だけではない。独自の介護技術認定制度を確立し、認知症ケアや看取り介護を追求するなどソフト面の充実も人気の理由だ。

㊦=開設年月、㊩=入居一時金、㊪=敷金、㊫=月額費用、㊬=居室の広さ

介護付き



アライブ世田谷代田 (東京都世田谷区)

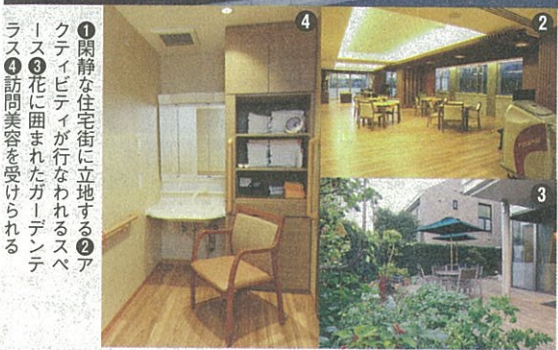
花と緑に囲まれた世田谷の暮らし

京王井の頭線、小田急線が乗り入れる下北沢駅から徒歩7分。近くには北沢川緑道や羽根木公園といった自然が多い閑静な住宅街に建つ「アライブ世田谷代田」。

花と緑に囲まれた玄関アーチをくぐって建物に入ると、広々としたラウンジがある。応接スペースではお茶を飲みながら来訪者と会話を楽しむ入居者の姿が見られる。「ここの食事は見た目も美しく、とってもおいしいんです。

す。いつも楽しみにしています」(入居者)
 来訪した家族も同じ食事をとることができるという。
 屋上には家庭菜園がある。夏には施設職員と入居者が一緒にメロンを収穫し、振舞われた。

この施設のもう1つの特徴は、入居者1・5人に対して1人のスタッフがつく手厚い介護体制だ。要介護5の人も受け入れており、看取りも実施している。



① 閑静な住宅街に立地する
 ② アクティビティが行なわれるスペース
 ③ 花に囲まれたガーデンテラス
 ④ 訪問美容を受けられる

基本データ ①12年11月 ②2500万~4200万円
 ③28万~36万円 ④18.4~29㎡

サ高住

ナーシングホームOASIS (愛知県名古屋市)



「在宅ホスピス」の経験が生きるサ高住

「末期がんなら、難病、脳血管障害などそれぞれの病気、介護状態に合わせて医療・介護・障害者支援の各専門スタッフが一チームレスケアを行います。病院と同じレベルの医療が受けられるため、「第2の自宅」として暮らせる。看取り100%を目指しています」(吉田豊美・統括マネージャー)

末期がんに特化した在宅ホスピス「ナーシングホームJAPAN」が立ち上がったの

は5年前。そこでの170人の看取り経験をもとに開設されたサ高住だ。運営母体は外科医、救急医として22年、在宅医として15年の経験がある医療法人吉田クリニック。24時間体制での在宅医療サポートが受けられる。末期がんなど終末期患者も受け入れる要介護フロアに加え、医療機器を備えALS等の難病者に対応できるフロアがある。サ高住としては、抜群の医療体制といえる。



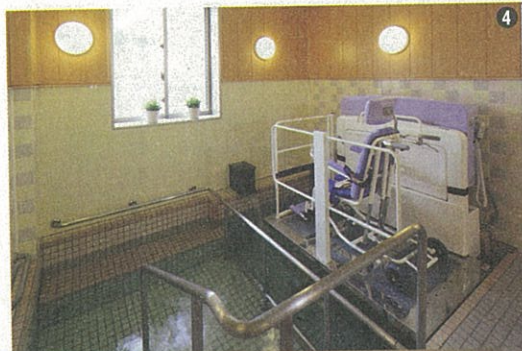
① プロ演奏家が週1回訪れる
 ② 車椅子のまま入浴できる大浴場
 ③ 吉田豊美・統括マネージャー
 ④ 最上階には展望レストランがある

基本データ ①13年9月 ②12万~16万円
 ③15.8万~18.3万円 ④18.6~29.6㎡

住宅型



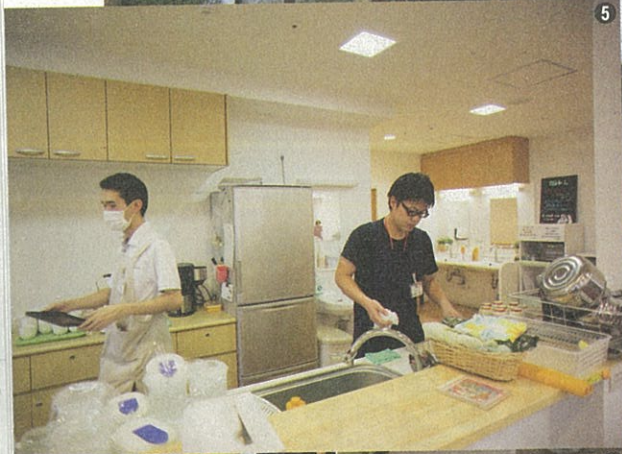
ここち西船橋 (千葉県船橋市)



4



1



5



3

2



6

①施設前は桜並木②各フロアにある談話スペース③移動図書館の本が並べられている④大浴場では機械浴も可能⑤スタッフが季節感のあるおやつを準備⑥田子祐二・ホーム長⑦折り紙のレクリエーションで手を動かす

基本データ

㉑12年11月 ㉒0円 ㉓24.2万円 ㉔18~19.2㎡

施設の目の前は桜並木。春には共用スペースから満開の桜が楽しめる。敷地内にはテラスや遊歩道が設置されていて、開放的な雰囲気だ。

リビングも広々としている。テレビを見る人や、無料のコーヒーを片手に会話を楽しむ人、折り紙工作をしているグループの笑い声が絶えない。一角では「表情トレーニング」のカルチャースクールが開かれており、入居者女性たちが鏡を覗き込んで講師の声に合わせ

近隣住民も参加するイベントで「楽しみのある毎日」を提供

せて表情を変えている。毎日午前10時から午後3時の「つどいの時間」は、認知症で1人では過ごせない入居者のために設けたもの。「体操」「ことば遊び」「カラオケ」などが行なわれ、元気な入居者を含め、ほとんどの入居者が参加している。

「毎日ある楽しいイベントを通じて、お友達もたくさんできました」(入居者)

ベネッセグループが運営しているだけあって、施設内には「脳トレコーナー」が。プリントを1枚解けば「ここちポイント」10ポイントがもらえ、ポイントが貯まれば景品と交換できる。

月に1度はボランティアが来て、「フラダンス」、「演奏会」、「歌劇」などのイベントが開かれる。季節ごとの「納涼祭」や「クリスマスパーティー」は、入居者や家族のみならず近隣住民まで参加して賑やかに開催されるという。

ヘルパーや訪問医など自由に業者を選択して24時間介護を受けられることから、入居者には介護度が高い人も多い。

サ高住



ようせいメディカルコート(東京都足立区)



基本データ ㉒12年6月 ㉓17万~19万円
㉔16.1万~17.1万円 ㉕19.1~20.8㎡

サ高住

リーフエスコートあざみ野(神奈川県横浜市)



基本データ ㉒13年11月 ㉓37.5万~70.8万円
㉔17.4万~29万円(食費別) ㉕33.1~64㎡

居室内にはトイレから寝室、リビングまでの動線上に同居者の動きをキャッチする空間センサーが設置され、一定時間動きが確認できない場合には自動的にセコムに通報。24時間有人管理で、すぐに職員が駆けつけるようになっていく。また、外出先でも使用可能な緊急通報端末「マイドックタープラス」は、ストラップを引っ張るとセコムへ通報。GPSで所在地がわかり緊急対応員が駆けつける。また、

服薬や病歴、かかりつけ医等の詳細な情報端末で確認ができ、適切な対応がとれる。さらに、併設の「セコムシニア倶楽部あざみ野」のデイサービスやサービス連携事業所による訪問介護サービスなども受けられる。それらの安心感が魅力だ。

1階の地域交流スペースは地元のカルチャースクールなどに貸し出されており、太极拳やストレッチ体操教室などが開かれている。

緊急時には警備会社に自動通報の安心感

「4か所の浴室」で充実の入浴

足立区で在宅看護など14の医療事業を展開する医療法人社団谷生会の理事長が「いろんな施設を見てきた中で、自分が最もいいと思う施設を作ろう」と開設。

充実した医療・介護サポートを受けられ、胃ろうや気管切開、尿管カテーテルといった常に医療処置が必要な人も受け入れている。

すぐ近くに医師が24時間常駐する系列の有床診療所があるのも安心感を高める。

同施設は入浴に定評がある。施設長の大西龍樹氏が語る。「血行の循環をよくして肌の乾燥を防ぎ、清潔を守るために、最低週に2回は入浴をしてもらっています。

寝たきりの人でも入れる機械浴や、車椅子のまま入れる機械浴、通常の浴槽など4か所の浴室を設けています」

急激な温度差による「ヒートショック」を防ぐため、浴室だけでなく、手前の部屋の温度管理もされている。

サ高住

サボテン六高台(千葉県松戸市)



㉒入居者とスタッフのミーティング
㉓清潔感のある居室
㉔春には桜が満開に
㉕人工呼吸器をしている人など医療処置が必要な人の入居も可能
㉖左から佐塚みさ子・代表と原田信子・施設長
㉗浴室
㉘リハビリ用のスペース

基本データ ㉒09年9月 ㉓14万~16万円 ㉔18万円 ㉕19.8~25.2㎡

「食事もちょうどいい薄味でおいしいですね。お菓子を毎日3時に持ち寄ってみんなとお話ししたり、塗り絵や書道をしたり、楽しく過ごしています」

小さな施設だからこそ実現できる、家族のような温かい空間があった。

医療処置が必要な人も利用できるデイサービスも併設されており、月に2回の宿泊が可能のため、近隣住民から喜ばれているという。入居者が語る。

「食事もちょうどいい薄味でおいしいですね。お菓子を毎日3時に持ち寄ってみんなとお話ししたり、塗り絵や書道をしたり、楽しく過ごしています」

小さな施設だからこそ実現できる、家族のような温かい空間があった。



「重度障害者や介護が必要な人が安心して暮らせる施設がない。それなら自分たちで作ろう!」

看護師をしていた佐塚みさ子氏が一念発起。仲間を集めて開設したのがこの施設だ。

1階の専用居室では、介護度が高い人のほか障害者、難病患者などを受け入れている。他施設では受け入れてもらえないことが多い、胃ろうや人工呼吸器などの処置が必要なケースでも対応可能。居室にバッテリーを設置し、突然の停電にも備える。

医療処置の必要ない入居者らも暮らす2階と、共用のリビング、ダイニングなどがある3階には全面床暖房が設置されている。足元から冷えないようにするための配慮だ。

この施設では、看護師もヘルパーも同じ制服を着用している。それにはこんな狙いがある。

「制服を分けてしまうと、どうしても意識に差が出てしまうことがあります。職員全員で入居者のみなさんの生活を支えようという思いを込めています」(佐塚氏)

医療処置が必要な人も利用できるデイサービスも併設されており、月に2回の宿泊が可能のため、近隣住民から喜ばれているという。入居者が語る。

介護度が高い人でも安心できる
看護師が立ち上げた施設

グループホーム

上目黒つどいの家 (東京都目黒区)

役割のある暮らしで活動的な毎日

受賞施設の中で唯一の「認知症高齢者グループホーム」。2階建ての施設は18室(9室×2ユニット)。
 食事は決まった献立があるわけではなく、ユニットごとに職員たちが買い出しに行つて作るため「シチューが食べたい」「魚を焼いて」というリクエストにもすぐに応えられる。見ると、配膳する入居者もいれば、食事作りを手伝う人、掃除を手伝う人も。「入居者の方がただサービス

受けるだけではなく、「いつまでも役割のある暮らし」を目指しています。それによつて認知症緩和につなげていきたいと考えています(平野 勝仁・ハウス長)

入居者それぞれの得意なこと、好きなことを見つけて役割をお願ひするという。クリスマスイベントには入居者の孫らが演奏会を開いたり、ボランティアが来て話に花を咲かせたり。みな家族のようなアットホームな施設だ。



基本データ
 ①12年7月 ②18.4万円 ③17万円 ④13.7㎡

クロスハート幸・川崎 (神奈川県川崎市)
 設備、研修など災害対策に注力



基本データ
 ①13年5月 ②0円 ③9.7万円 ④10.7㎡

カフェスペースや図書コーナーなど、共用部が充実。部屋を福祉団体に無料貸し出しするなど、地域交流の拠点でもあり常に賑わっている。太陽光パネル、蓄電機能のある電池自動車、自家発電設備などを整備し、災害対策にも力を入れる。

アズハイム横浜いずみ中央 (神奈川県横浜市)
 音楽療法で認知症対策

基本データ
 ①13年4月 ②0円 ③30.5万円 ④18.6㎡



①暖かい部屋で機械浴ができる
 ②シックな居室 ③施設外観

認知症対策に力を入れており、楽器を使う「ブネ・メソッド」という音楽療法を取り入れている。またスポーツクラブとのタイアップによる週に2回ほどの体操教室や書道、カラオケなど毎日レクリエーションが行なわれている。併設のデイサービスも利用可。

住宅型

藤沢エデンの園一番館 (神奈川県藤沢市)



基本データ
 ①11年4月 ②2790万~4620万円 ③13.5万円 ④36.9~63.9㎡

①全室南向きの居室 ②レストラン ③右の建物が「一番館」。左は介護付き有料老人ホームの「二番館」 ④麻雀卓が置かれたプレイルーム ⑤通路が広く歩きやすい ⑥伊藤暢浩・園長 ⑦大浴場は炭酸泉浴槽

「園内での行事や自主的なサークル、特養やデイサービスでのボランティアなどに積極的に参加する入居者も多く、毎日をアクティブに過ごしています」(伊藤氏)

健康相談や栄養相談を実施したり、ホーム内で年2回の定期検診を実施するなど、入居者の健康に注意を払う。居室には緊急通報装置が設置され、緊急時には職員が対応する。

「同一建物内に併設の在宅介護サービス事業所があるので、必要に応じてサポートを受けられます。自立した生活が基本の住宅型ホームでありながら、在宅介護サービスが充実しているので住み慣れた部屋で看取られる方もいらっしゃいます。」

それでも日常的に介護が必要となった場合には追加費用なしで介護型の「二番館」に住み替えることもできます(伊藤暢浩・園長)

健康相談や栄養相談を実施したり、ホーム内で年2回の定期検診を実施するなど、入居者の健康に注意を払う。居室には緊急通報装置が設置され、緊急時には職員が対応する。

提携施設の充実がもたらす健康的でアクティブな在宅生活

ケヤキ通りの街並み、公園、医療機関、図書館、市民センター、ショッピングセンターなど、緑があふれ利便性の高い神奈川・藤沢市の「湘南ライフタウン」。その街の中心に社会福祉法人「聖隷福祉事業団」が運営する1万7000平方メートルの敷地面積を誇る高齢者向け複合施設「聖隷藤沢ウェルフェアタウン」がある。

その中にあるのが、住宅型有料老人ホーム「藤沢エデンの園一番館」だ。複合施設内には介護付き

有料老人ホーム「二番館」、居宅介護支援・訪問看護・訪問介護、特別養護老人ホーム、デイサービス、診療所(テナント)などが集まっている。

「同一建物内に併設の在宅介護サービス事業所があるので、必要に応じてサポートを受けられます。自立した生活が基本の住宅型ホームでありながら、在宅介護サービスが充実しているので住み慣れた部屋で看取られる方もいらっしゃいます。」

介護付き



ツクイ・サンシャイン町田西館 (東京都町田市)

毎日、5種類から選べる昼食

定員168人の施設で、共用部分が多く開放感がある。広いエントランス、露天風呂やシアタールームなどは大型施設ならではの設備だ。
入居者の楽しみは、毎日厨房で作られる5種類の日替わりメニューから昼食を選べること。また、外出イベントも豊富で、外食も楽しみの1つだ。
クリニックが併設されており、看取りも対応。健康管理室では毎日の投薬管理や健康状態を見守ってくれる。

①中庭は癒しの空間②健康管理室で薬をチェックする看護師③周りに高い建物がなく見晴らしが良い

基本データ
 ①11年5月
 ②0円
 ③26.4万円
 ④18.6~20.2㎡



介護付き



ドーマー中野江古田 (東京都中野区)

状態に合わせたフロア別サポート

自立者向け大浴場では月に1度、1週間の間、運び込まれる温泉の湯を楽しむことができる。
毎日厨房で作られる食事は介護の状況に合わせて、通常食、きざみ食、超きざみ食、ミキサー食の4種類が準備される。食堂からは厨房の炙り焼きコーナーがガラス張りで見えるようになっており、食欲をそえられる。
介護が必要な度合いに合わせてフロアが分かれており、それぞれ担当の介護・看護職員が見守っている。

①屋上庭園は入居者の憩いの場②敬老の日のメニュー③近隣には商店が数多く便利

基本データ
 ①13年12月
 ②0円
 ③32.7万円
 ④20.1~44.4㎡



住宅型



ネオ・サミット茅ヶ崎 (神奈川県茅ヶ崎市)

海と富士山の絶好の眺望

1つの建物に住宅型と介護付きホームが併設され、介護が必要になっても一時金の追加負担なしで移動できる。
施設は湘南の保養地跡に建設され、「天気の良い日には富士山も見えるし、海が目の前にあって気持ちいいから毎日散歩しています」(入居者という)。
大和ハウスグループが運営し、カラオケルーム、ラウンジ、パティールーム、広い大浴場など贅沢な設備が人気。非常用自家発電など、災害時対策も万全。

①1つの街のような大きな建物②屋上からは美しい富士山を眺望③会話が弾む落ち着いた雰囲気のあるラウンジ

基本データ
 ①12年12月
 ②1792万~4980万円
 ③19.3万円
 ④34.4~61.8㎡



サ高住



和楽久シニアレジデンス長津田

(神奈川県横浜市)



①ボランティアが手入れするイングリッシュガーデン②落ち着いた居室③カラオケルーム④レンガ作りの外観⑤ボランティア合唱団の歌声に触れる⑥iPadで緊急コールできる⑦寝たきりでも入れる機械浴

基本データ
 ①12年12月 ②27.5万~29.2万円
 ③17.6万~18.1万円 ④25.3~26㎡

ボランティアの活動がとても盛んなサ高住だ。手品や大正琴演奏、ハーブ演奏、フラダンスなどの催しが月に3回行なわれている。取材当日のイベントは合唱だった。ほとんどの入居者が参加し、ボランティアとともに楽しそうに歌っていた。
見晴らしのいい屋上にはボランティアが草花を育てたイングリッシュガーデンがあり、入居者たちが和ませている。
同施設は、認知症の祖父が施設

各部屋設置のiPadで「緊急コール」できる先進システム

で拘束されながら介護を受けていたのを見た代表が、「ありのままを受け止める、自然な介護の大切さを感じて」実家を建て直して設立した。
認知症のケアも一工夫。徘徊したり、大声を出したりする原因をそれまでの人生経験に照らし合わせて理解し、共感して接する「パティエーション療法」を取り入れる。小規模施設にもかかわらず、各居室の風呂に加えて、寝たきりや車椅子の人でも入れる機械浴や、介護の必要がある人でも入れる浴槽も設置されている。
ここでは先進的なシステムも導入している。
各居室の部屋全体が見渡せる位置にiPadが設置され、緊急コールを鳴らすと職員とすぐにテレビ電話がつながる「楽コールシステム」である。
施設のスタッフは、テレビ電話で入居者の様子を直接確認して緊急性を判断できる。そうした設備がもたらす安心感が決め手となっており、この施設に入居した人も多いという。

①=開設年月、②=入居一時金、③=敷金、④=月額費用、⑤=居室の広さ

サ高住



マザアス札幌 (北海道札幌市)

施設内に24時間巡回介護事業所



①音楽会などイベントが充実
②札幌中心部に立地。交通の便がいい
③訪問理容が受けられる

JR札幌駅から歩いて7分と絶好のアクセスを誇り、家族が面会に行きやすい。
透析が必要な患者や、認知症患者、ペースメーカー、ストマ(人工肛門)を装着した人なども受け入れている。看取りに力を入れており、2年前の開設時から5人の看取り実績がある。
「24時間巡回訪問介護・訪問看護事業所」を1階に併設し、夜間なども安心できる。
パンケーキ作りや切り絵などイベントも盛んだ。



基本データ
 ①12年4月
 ②24万~27万円
 ③20.7万~21.7万円(冬期は別途暖房費5000円)
 ④18~21.9㎡

介護付き

メディカルホームグランダ香里園 (大阪府枚方市)

選べる「外出ツアー」が人気



認知症ケアに特化したスタッフの育成に取り組んでいる。転倒を繰り返していた認知症患者が、入居してから精神的に落ち着き、ほぼ転倒しなくなったという。
体操や音楽イベントなど施設の中でのアクティビティだけでなく、USJやショッピングモール、懐石料理を食べに行くなど、外出ツアーが人気だ。
施設横の広大な駐車場を毎週開放して、パンや豆腐、花の販売会を開催。地域の人との交流の場になっている。

①周辺には緑が多い
②人気
③介護技術の研修風景



基本データ
 ①11年4月
 ②0円
 ③34.5万円
 ④18.1㎡



サ高住



悠楽里まちだスカイビュー (東京都町田市)

ペットと同居可能な居室がある



①全部屋に光が差し込むよう広くとれたベランダと窓
②音楽などイベントも盛りだくさん
③季節ごとの食事メニューが人気

高台に南向きの立地。日当たりがよく、見晴らしもいい。
特に3階レストランからの眺望が自慢で、入居者は「ここで食事するのが楽しみ」という。
1階はペット同居可能。入居するときに大切なペットと別れる必要がないことが人気の理由となっている。また、夫婦で入居可能な50㎡の部屋もある。
訪問介護事務所を併設しており、必要な場合には迅速にケアプランの作成や介護サービスを受けることができる。



基本データ
 ①13年1月
 ②40万円
 ③24.6万円
 ④25.1㎡

①=開設年月、②=入居一時金、③=敷金、④=月額費用、⑤=居室の広さ